

## 2 水はどこから来たのでしょうか？

東三河の水マップで場所をみつけよう！

わたしたちが使っている水道の水は、ダムの水、川の水（水源林）、地下水を水源としてしています。

### (1) ダムの水

わたしたちのすむ豊橋市には、豊川という大きな川があります。豊川には宇連ダムや大島ダム、そしていくつかの堰があります。ダムは川をせき止めてたくさんの雨水を貯えることができます。川の水が少なくなったときや、水をたくさん使う季節にダムの水を流して使いますし、洪水も防いでくれます。

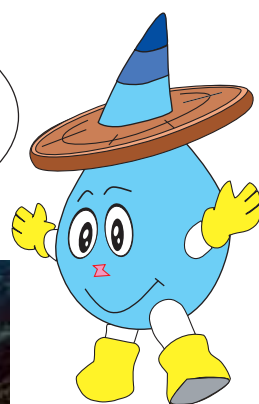


宇連ダム 貯水量 2,842万m<sup>3</sup>



大島ダム 貯水量 1,130万m<sup>3</sup>

ダムは大切な役割をしているんだね！



### ダムが一番調べてみよう！

一番多く水を貯められるダム

日本…徳山ダム	総貯水量 6.6 億m <sup>3</sup>	岐阜県揖斐郡 揖斐川
世界…カリバダム	総貯水量 1,806 億m <sup>3</sup>	ジンバブエ共和国・ザンビア共和国 (アフリカ大陸の内陸部) ザンベジ川

参考

佐久間ダム	総貯水量 3.43 億m <sup>3</sup>	愛知県・静岡県 天竜川	日本で七番
アスワンハイダム	総貯水量 1,620 億m <sup>3</sup>	エジプト・アラブ共和国	ナイル川 世界で三番

出典元 (財)日本ダム協会「ダム年鑑 2011」



「堰」とは、水の流れをとめたり調節したりするところ。  
 「水源」とは、水の流れ出るもと。  
 「洪水」とは、川の水があふれ出ること。

## (2) 川の水(水源林)

豊川の水はどこから流れてくるのでしょうか。それは、森林からです。森林に降った雨は、森林の土にしみこみます。森林の土は、葉っぱや枯れた木がくさってできていて、スポンジのように柔らかで、たくさんの水を貯えることができます。



光が入る元気な森林(枝打・間伐後)

雨水は、森林の土にゆっくりと地下にしみこんで、長い時間をかけてようやく川に流れ出します。もしかすると今飲んでいる水は、わたしたちが生まれた時に森林に降った雨水なのかもしれません。

このように、森林は降った雨を何年もかけて少しずつ川やダムにとどけてくれ、洪水も防いでくれます。だから、雨が降らない日も続いても、豊川の水はすぐにはなくなりません。

このような森林は「水源林」とか「緑のダム」とよばれています。

豊橋市をはじめ東三河の市町村が、豊川上流の「水源林」を豊かにするために、水道料金の一部を使い森づくりに取り組んでいます。

**ダムと同じはたらきをする森を、みんなも育ててね！**

資料提供：  
NPO法人森林真剣隊



植栽



下刈

## (3) 地下水

雨水は、地面にしみこみ何年もかけてきれいな地下水となります。豊橋市にはこの地下水を水道水にしている施設が9か所あります。

一度にたくさんの水を汲めませんが、ダムの水が少なくなったとき、貴重な水となっています。